

M I E N O N I J I

みえの虹

三重県生活協同組合連合会

〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目135 ハイツフジタ1F

TEL 059-228-9913

FAX 059-228-9915

No.91

2012年3月

『台風12号被災地支援義援金を お届けしました』報告



御浜町



熊野市



紀宝町



2012年は国際協同組合年です



協同組合原則

1995年9月マンチェスター
でのICA大会で採択

- 自発的で開かれた組合員制
- 組合員による民主的管理
- 組合員の経済的参加
- 自治と自立

- 教育、訓練および広報
- 協同組合間協同
- コミュニティへの関与

**「台風12号被災地支援
義援金をお届けしました
(第一次配分)」報告**



「御浜町の古川町長(左から3人目)、大畠副町長(左から4人目)と懇談する県連と会員生協からの参加者」

昨年の台風12号の災害を受けて、全国の生協からお寄せいただいた救援募金（二次配分）は261万5849円となりました。2月9日（木）に、県内で被害の大きかった熊野市、御浜町、紀宝町を訪問し、募金の贈呈をおこないました。今回お届けした募金額の内訳は、被害の大きさに応じて、紀宝町10万1478円、熊野市84万6619円、御浜町6万7752円でした。御浜町は古川弘典町長、熊野市は山川勝副市长、紀宝町は山村昭特別参与に対応していただきました。次配分の316万6889円は、昨年11月日に鈴木英敬三重県知事へ贈呈させていただきました。

**「平和市長会議未加盟
自治体への加盟要請訪問を
おこないました」報告**



「紀北町の尾上町長（左）と中場総務課長（左から2人目）」

1月下旬から、2月末にかけて、三重県原爆被災者の会、原水爆禁止世界大会三重県協議会と連携し、県内の29市町のうち平和市長会議未加盟の10町（明和町、多気町、度会町、南伊勢町、川越町、紀北町、大紀町、御浜町、紀宝町、玉城町）を訪問しました。訪問は県連事務局の他に、copeみえとみえ医療福祉生協の理事や該当地域のセンター長と一緒に訪問しました。訪問後に紀北町と多気町が早々に加盟していただきました。他にも加盟の意思表示を明確にされている町もあります。引き続き、三重県内の加盟率100%達成を目指していきます。



「多気町の久保町長（左から2人目）と参加者の皆さん」

「食の安全委員会」



養殖タイを加工する様子



尾鷲市の岩田市長(中央)と食の安全委員会の皆さん

1月20日に尾鷲市魚まち推進課のご協力によ

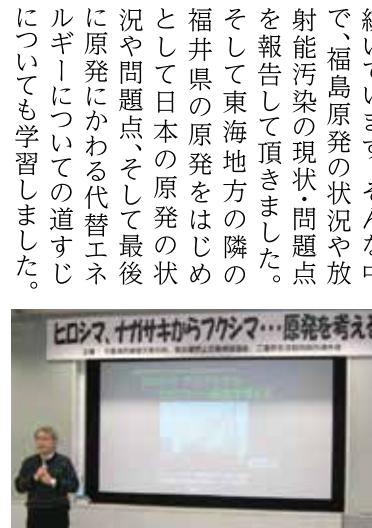
り尾鷲市の魚市場見学をさせていただきました。

岩田尾鷲市長自らが、市場の説明・案内をしていただきました。その後尾鷲市役所にて養殖魚の現状や水産業政策について学習させていただきました。また尾鷲物産とみえ漁連の加工場の見学もさせていた

専門委員会報告 「平和活動委員会」



62名の参加で会場は満員でした



講師の児玉一八氏

2月18日に福島第一原発事故の発生から1年を前に、三重県生協連、三重県原爆被災者の会、原水爆禁止三重県協議会の3者共催で「ヒロシマ、ナガサキからフクシマ：原発について考える」をテーマに学習会を開催しました。参加者は62名でした。講師は、核・エネルギー問題情報センター理事 医学博士 理学修士の児玉一八氏をお招きしました。3.11東日本大震災から1年近くが経過しても復興は進んだとはいえない状況が続いています。そんな中で、福島原発の状況や放射能汚染の現状・問題点を報告して頂きました。

そして東海地方の隣の福井県の原発をはじめとして日本の原発の状況や問題点、そして最後に原発にかかる代替エネルギーについての道すじについても学習しました。

「協同のあるまちづくりをするすすめる委員会」



講師の森英紗子氏

2月23日に三重県教育文化会館にて「福祉のまちづくりーひとりぼっちにしないまちづくりー」というテーマで講演会を開催し36名が参加しました。講師には東京都生活協同組合連合会の福祉政策担当 森英紗子氏をお招きしました。講演は、モデル地域と呼ばれる杉並区、練馬区、北区の実践事例をパワー・ポイントを使いながら紹介いただきました。行政と連合会の連携が連携することの重要性を強く呼びかけられました。参加者からは、「地域の諸団体や行政との連携、関わり方の大きなヒントを戴いた」などの感想が出されていました。

会員だより

みえ医療福祉生協・三重大学生協・コープみえ

「原発に賛成、それとも反対!?全地域で「バレンタイン行動」を行ないました!」

みえ医療福祉生協

2011年度の「バレンタイン行動」は“原発問題”をテーマに国民投票を行ないました。全ての地域で街頭宣伝が実施され、参加者数は110名でした。配付したハガキは800枚で、回収されたハガキは約600枚でした。四日市地域でのアンケート結果と声を紹介します。(ハガキ総数183枚)。原発からの撤退を決断し、エネルギー政策を転換することに賛成が157名、反対が22名、未記載4名となっています。85%以上の方が原発の撤退を訴えています。意見欄には、「原発はみんなの笑顔などを簡単に奪ってしまうものです。平凡な一日一日だとしても、失われると、かけがえのないものと気づきます」(18歳)「地震の多い日本には適さない」(16歳)など青年たちが多く意見を寄せてくださいました。



三重大学新学期対応～学生と職員で新入生を迎えます～

三重大学生協

三重大学生協では3月8日(木)の前期日程入試の合格発表時に生協学生委員と職員と一緒に合格袋(加入・教材等の資料)を223名の合格者に配布しました。また、生協食堂では新入生向けの特設会場がはじまり、加入や新歓企画、パソコン、教材の説明および住まい探しの相談・案内を行いました。特に加入説明は学生委員を中心に準備を行い合格者や保護者に向けて説明をしております。

今年からは学生総合共済と競合する保険が大学より紹介されているので、より丁寧な説明が求められています。新入生対応は4月の入学式まで続きます。



三重県学校生協

「環境キャンペーン贈呈式」

コープみえ

2月25日(土)、2011年度環境キャンペーン寄付金贈呈式をアスト津(津市)で開催し、寄付金寄贈団体、コープみえ 組合員、役職員など53名が参加しました。コープみえ茂木理事長より県内で環境保全活動に取り組んでいる10の団体に寄付金の目録が贈呈されました。各団体の代表より活動紹介のあと、三重県より「平成23年度みえ環境活動賞」を受賞されたコープみえ組合員グループ伊賀地区環境(委)グループの代表より、16年間続けてこられた名張川リバーウオッティングについての活動報告がありました。基調講演では講師の北村淳一先生(三重県 生活・文化部 三重県立博物館整備推進室、理学博士)より、「地域固有の自然とこれからの関わり方を創造し実践する地域の活動」と題して、水生生物と水田用水路を事例に、地域の環境と人々のくらしとこれからの課題等をお話していただき、参加者との意見交換等をおこないました。会場では、各団体の活動パネルなどが展示され、参加者との交流も行われました。



環境キャンペーン寄付金贈呈式

三重県からのお知らせ

食の安全安心ミニ情報

HACCP(ハサップ)ってなあに?

食品の高度な衛生管理システムです。従来は最終製品の安全チェックに重点を置いていましたが、HACCPでは製造工程ごとにチェックして安全性を高めています。もともとは、アポロ宇宙計画の中で宇宙食の品質や衛生管理のために開発されたものです。



理事会だより

第5回理事会

(2012年2月15日 13:30~15:30 三重県生協連事務所)
出席理事6名、欠席理事1名、出席監事2名

報告事項

1. 機関会議の報告
2. 活動の報告
3. 日本生協連、県、諸団体等の会議報告
4. 台風12号の義援金の最終配分について
5. 三重大学オリジナル「鹿肉カレー」試食&発表会について

協議決定事項

1. 日本生協連第62回通常総会代議員選出(案)の件
2. 2012年度会費(案)について
3. 2011年度のまとめと次年度の課題(案)について
4. 第36回通常総代会開催の日程と会場(案)の件について
5. 2011年度年度末予測について
6. 平和市長会議加盟の要請行動の報告と今後の活動について
7. 消費者ネットワーク設立について
8. 消費者のための新たな訴訟制度の創設に係わる意見書の県議会での採択の報告と今後の活動について
9. 関西地連運営委員推薦について